

文学館だより

令和元年 9月 1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文 貴 日 高

午前七時五十八分香をたく我忘れざりき六十六年

『創作』社友 竹中皆二氏作。牧水忌と題し、7首詠んでいるうちの1首。
『創作』平成6年12月号掲載。近年、ご子息により『創作』を宮崎県立図書館へ寄贈されている。

第69回

牧水祭

と き 令和元年9月17日（火） 牧水の命日（没後91年）

会 場 牧水生家周辺及び牧水公園ふるさとの家（日向市東郷町坪谷）
※小雨決行、荒天の場合は延期し、歌碑祭のみ開催

開催目的

近代短歌史に偉大な足跡を残した日向市東郷町出身の歌人「若山牧水」を
顕彰し、牧水についての理解を深めるとともに、短歌文学の発展並びに生誕
の地「宮崎県日向市」を全国に発信することを目的とする。

第一部 歌 碑 祭 9:30～ 9:55

受 付 9:00～
場 所 牧水生家 夫婦歌碑前
内 容 歌碑前において短歌朗詠、献酒

第二部 牧水を偲ぶ会 10:15～14:00

場 所 牧水公園ふるさとの家
内 容 ○牧水の歌斉唱：東郷学園児童
○対談『牧水短歌の力動をよむ』
中村佳文氏（宮崎大学教育学部教授、牧水研究会会員）
伊藤一彦（歌人、若山牧水記念文学館長）
○懇談会
牧水が好きだった田舎料理を囲んでの懇談会
（会費 一人当たり500円）

第二部の対談までは無料です。懇談会ご参加の方は500円ご負担願います。
開催目的に賛同される方であれば、どなたでも参加できます。
牧水の命日に、牧水を偲び、牧水を語りましょう。
多くのご参加、お待ちしております。

主催 日向市 日向市教育委員会 日向若山牧水顕彰会

第34回 若山牧水生誕祭（若山牧水延岡顕彰会・延岡東ロータリークラブ主催）

明治18年8月24日（土）の誕生を記念して、今年も延岡の地では生誕祭が開催されました。当顕彰会からは会長、文学館からは事務局長が出席しました。

宮崎西高等学校連覇

第9回 牧水・短歌甲子園

伊藤先生もおっしゃられていましたが、今年は2－1で勝利する接戦が全15試合中11試合も見られました。今年もまた、見応え聞き応え十分の2日間でした。



対戦の様子



判定の瞬間



伊藤先生による講評

【講評および感想】(抜粋)

伊藤一彦先生：現代短歌そのものがどの方向を目指したらよいのか、現代短歌最先端の問題提起の場となっている。

俵 万智先生：心を言葉にしたいところから言葉さがしが始まり、言葉の技術があるとより自分の心が的確に表現できる。歌作りは丁寧に生きているという尊さを感じる。

大口玲子先生：自分の短歌観を問われる歌が多かった。手の込んだ技術が先行し、もともとの素材は何だったか、何のために歌を作るのかを考えさせられた。

笹 公人先生：自分の家族を純粋に感謝する歌が多かった。

- | | | |
|-------|--------------|--------------|
| 【優勝】 | 宮崎県立宮崎西高等学校 | (第2回、第8回 優勝) |
| 【準優勝】 | 石川県立金沢錦丘高等学校 | |
| 【第3位】 | 宮崎県立宮崎大宮高等学校 | |
| 【第3位】 | 宮崎県立宮崎南高等学校 | |

【決勝 自由題】

宮崎県立宮崎西高等学校

- | | |
|---------------------------|------------|
| 母上の説教かぼんと受け流す春のうらの鹿おどしのごと | (1年 大野俊太郎) |
| 平和祈念像がまっすぐ指差した夏空をゆく弾道ミサイル | (1年 後藤 匠人) |
| 真夜中に足の爪のみ塗ってゆく高三の恋はほの暗き赤 | (3年 宮本 陽香) |

石川県立金沢錦丘高等学校

- | | |
|---------------------------------|------------|
| 横たわるプラネタリウムの空間は好きじゃない人好きになりそう | (1年 本同 加奈) |
| 手についたチョークの粉でちょんちょんと蝶を描いて女子の気を引く | (1年 沖村 采城) |
| 伝書鳩ほどの勇気もないんだよ夕飯中は黙っていてよ | (1年 山田 晃弘) |

【個人賞】

【牧水賞】 観客の投票で決まります 宮崎県立宮崎西高等学校 3年 宮本 陽香
兄と空けたワインボトルをアルバムのように眺める父の横顔

【若山牧水記念文学館長賞】 宮崎県立宮崎南高等学校 2年 浦田 ゆり
流星群見上げる夏のベランダに叶わなかった母の恋聞く

【日向若山牧水顕彰会長賞】 石川県立金沢錦丘高等学校 1年 沖村 采城
海底の隆起で生まれたこの町で恋をしているダイナミックに

【俵 万智賞】 岩手県立盛岡第三高等学校 3年 國崎 萌子
顔面がひっくり返るくらい泣く居間に酸っぱいプラムの匂い

【大口玲子賞】 岩手県立盛岡第三高等学校 3年 及川 亜美
水香るスタート台に手をかけて号令までの孤独を抱く

【笹 公人賞】 宮崎県立宮崎南高等学校 2年 佐藤ひかる
荒神の面をはずしたじいちゃんがにっこり笑う人にもどりと